

第28回 全国街路事業コンクール

# 全国街路事業促進協議会会長賞

東京都第二建設事務所

東京都市計画道路都市高速道路中央環状品川線整備事業

都 市 名	東京都 品川区、目黒区	事業主体	東京都
<b>事業概要</b>			
本路線は、東京外かく環状道路、首都圏中央連絡自動車道と共に首都圏三環状道路の1つであり、本事業は、大橋から大井までの区間を整備するものである。都の街路事業では、内回り本線シールドと大井地区トンネル及び大井ジャンクション、さらに4換気所の躯体及び建築設備を主に整備した。			
東京都内には1日100万台以上の車が流入しているが、首都高都心環状線においては、約6割の車が通過交通であり、渋滞が慢性化していた。			
本事業により、都心に集中する交通が分散し、渋滞が緩和されるとともに、定時性が向上し、輸送物流への経済効果の発現や観光の活性化への寄与が図られた。また、並行する一般道路から本路線への交通転換により、山手通り（環6）では交通量減、所要時間の短縮、大型車交通量の減少が実現した。なお、中央環状線は、三環状道路で最初のリング全線開通となった。			
○事業延長：約9.4km（トンネル構造：約8.4km（大井行きトンネル）、高架構造：約0.6km（大井JCT）、擁壁構造：約0.4km（トンネル構造と高架構造の接続部）） ○幅員：12.3m（大井行きシールド内径）			
○事業費：約1,400億円 ○事業期間：平成18年度～平成26年度			
<b>表彰理由</b>			
本事業により、首都圏三環状道路のひとつである中央環状線が全線開通となり、首都高道路の渋滞緩和、所要時間の短縮、更には一般道の混雑緩和が図られるなど、大きな整備効果を発現していることが高く評価された。			
また、本路線の開通を契機に高速バス路線のダイヤ改正が行われ、利用者が増加するなど、広範な社会・経済への波及効果も高く評価された。			

